

「福岡市環境基本計画（第三次）」 成果指標の達成状況及び総合評価

令和3年11月15日

成果指標の達成状況及び総合評価の基準

○成果指標の達成状況の基準

A	目標値に向けたペースを達成している又は上回っている
B	目標値に向けたペースを下回っているが、指標は改善している又は現状維持
C	目標値に向けたペースを下回っており、指標が悪化している
－	数値が把握できないため判定不能

※意識系の指標については、初期値からの数値の変動幅が概ね±3%未満の場合は、アンケート調査の誤差を考慮し、現状維持の範囲内とする。

※「目標値に向けたペースを上（下）回っている」とは、成果指標の基準値と目標値を結んだ線分を実績値が上（下）回っていることである。（数値が下がると成果が向上する指標については、その逆となる。線分と一致する場合は「目標値に向けたペースを達成している」となる）。

○総合評価の基準

成果指標のA＝3点、B＝2点、C＝1点とし、各指標の平均点により評価する。

平均点	評価（基準）	
2.5 以上	順調に進捗している	★★★
1.5 以上 2.5 未満	概ね順調に進捗している	★★
1.5 未満	進捗が遅れている	★

※特記事項を踏まえ、理由を明示した上で、平均点をベースとした評価（基準）からアップ又はダウンさせることもある。

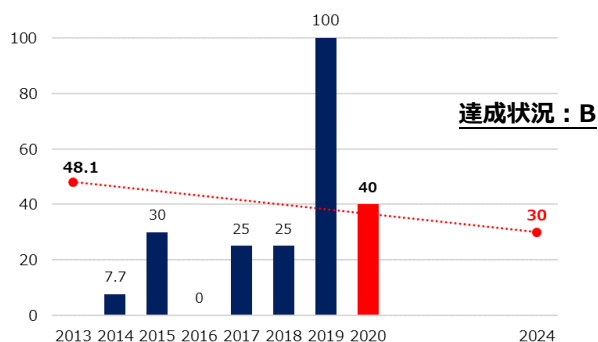
1 分野別施策

第1節 快適で良好な生活環境のまちづくり

第1項 黄砂・PM2.5 などの大気汚染物質への対応

No	指標	現状値 (基準年度)	実績値 (把握年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	総合評価
①	PM2.5 の予測精度	見逃し率 48.1% (2013 年度)	40.0% (2020 年度)	30%以下 (2024 年度)	B (2)	★★ (2)

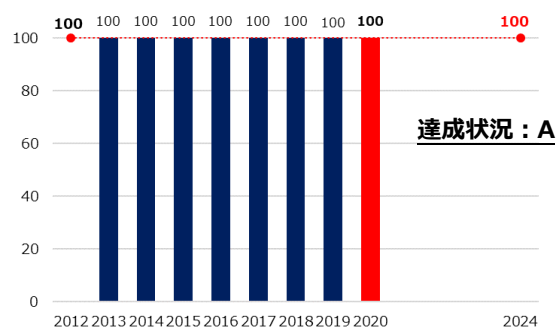
【特記事項】 2013 年 12 月の予測手法の見直し以降、通算の見逃し率は 26.1%と目標を達成している。また、PM2.5 濃度は年々減少し、2020 年度は市内 9 か所の測定局のうち 8 か所で環境基準を達成していることから、概ね順調に進捗しているものと評価する。



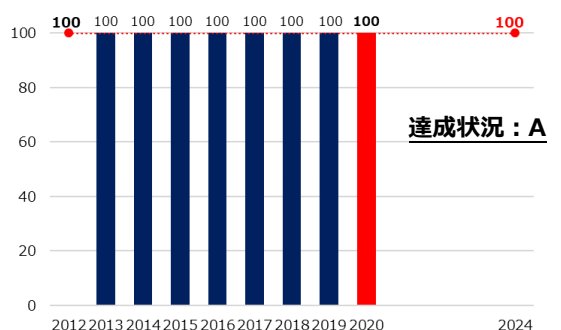
①PM2.5 の予測精度

第2項 良好な生活環境の保全

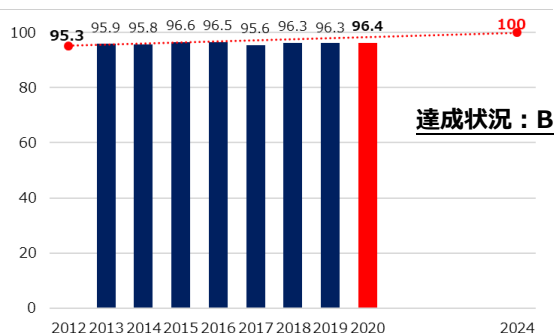
No	指標	現状値 (基準年度)	実績値 (把握年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	総合評価
①	環境基準（大気質）の達成率	NO ₂ 100% (2012 年度)	100% (2020 年度)	100% (2024 年度)	A (3)	★★★ (2.8)
②	環境基準（有害大気汚染物質）の達成率	ベンゼン 100% (2012 年度)	100% (2020 年度)	100% (2024 年度)	A (3)	
③	環境基準（自動車騒音）の達成率	95.3% (2012 年度)	96.4% (2020 年度)	100% (2024 年度)	B (2)	
④	環境基準（ダイオキシン類）の達成率	100% (2012 年度)	100% (2020 年度)	100% (2024 年度)	A (3)	



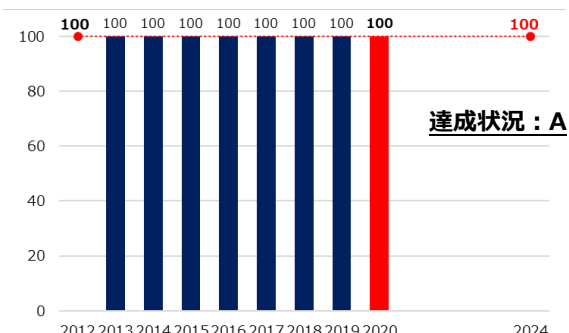
①環境基準（大気質）の達成率



②環境基準（有害大気汚染物質）の達成率



③環境基準（自動車騒音）の達成率



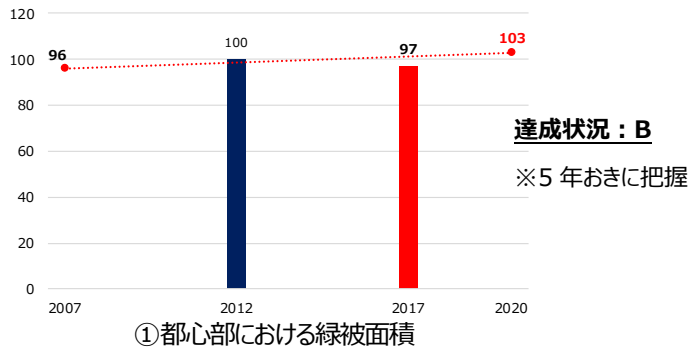
④環境基準（ダイオキシン類）の達成率

第3項 気候変動への適応

No	指標	現状値 (基準年度)	実績値 (把握年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	総合評価
①	都心部における緑被面積	96 ha (2007 年度)	97 ha (2017 年度)	103 ha (2020 年度※)	B (2)	★★ (2)

都心部：御笠川～百年橋通り～高宮・大正通りで囲まれたおよそ3km四方、面積920haの範囲

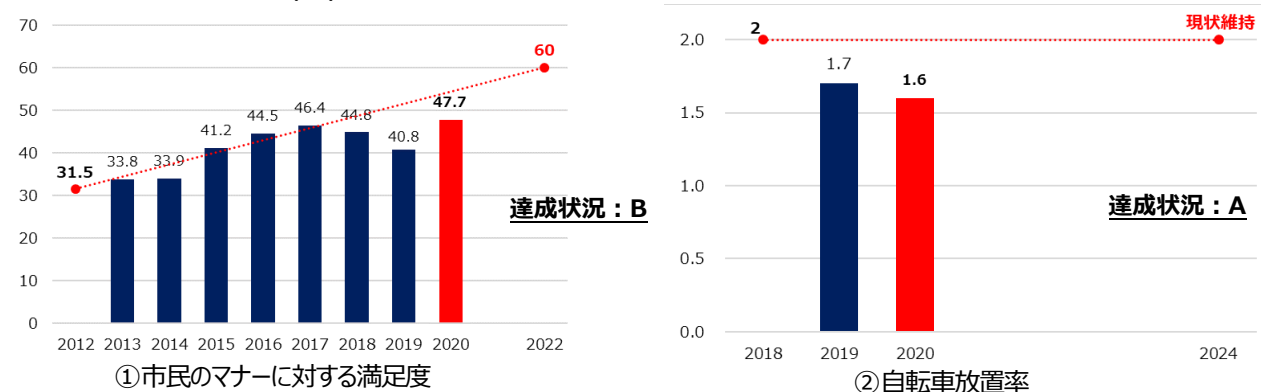
※福岡市環境基本計画（第三次）（以下「基本計画」という。）の目標年度が2024(R6)年度であるため、本成果指標については、目標年度以降に指標項目及び目標値の再設定を検討する。



第4項 歴史・景観を活かした美しいまちの実現

No	指標	現状値 (基準年度)	実績値 (把握年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	総合評価
①	市民のマナーに対する満足度	31.5% (2012 年度)	47.7% (2020 年度)	60% (2022 年度※)	B (2)	★★★ (2.5)
②	自転車放置率	2.0% (2018 年度)	1.6% (2020 年度)	現状維持 (2024 年度)	A (3)	

※基本計画の目標年度が2024(R6)年度であるため、本成果指標については、目標年度以降に指標項目及び目標値の再設定を検討する。

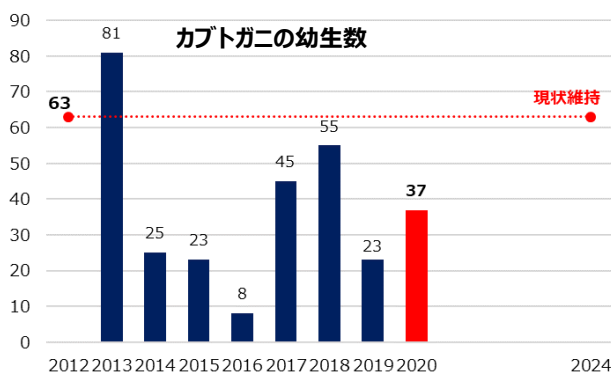
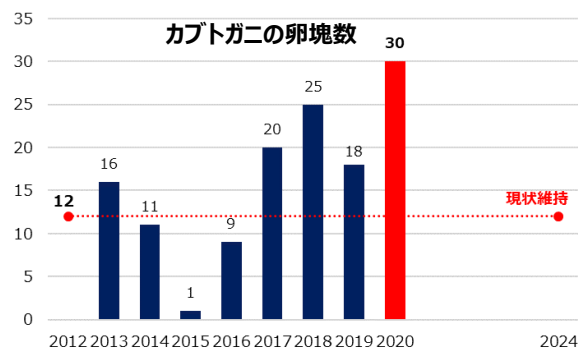
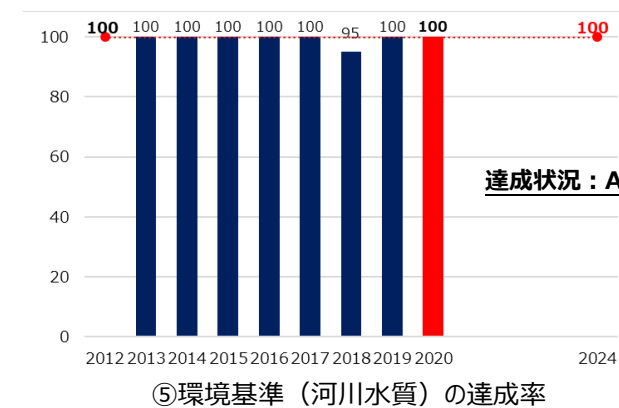
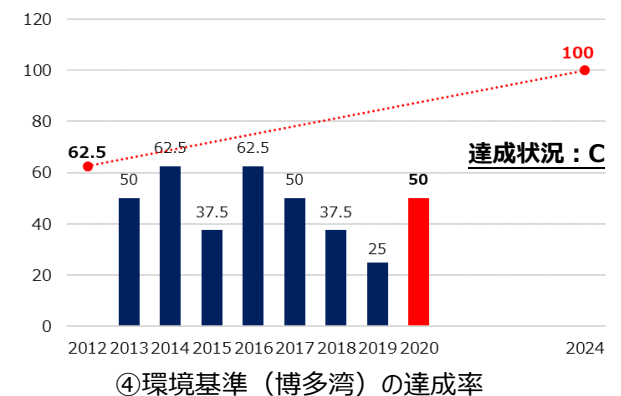
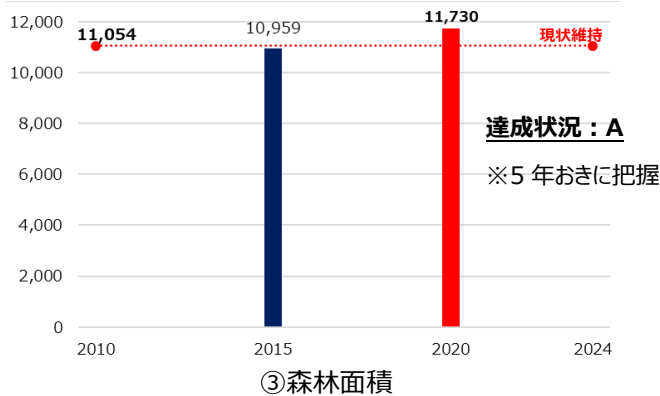
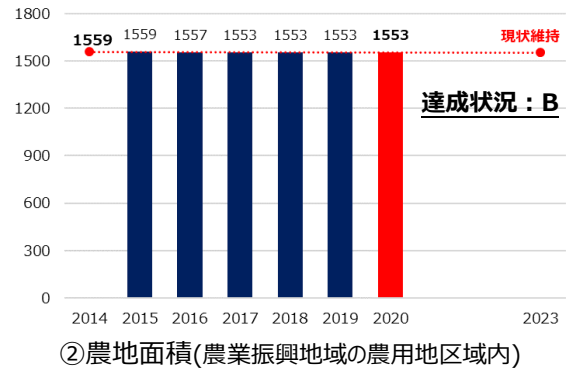
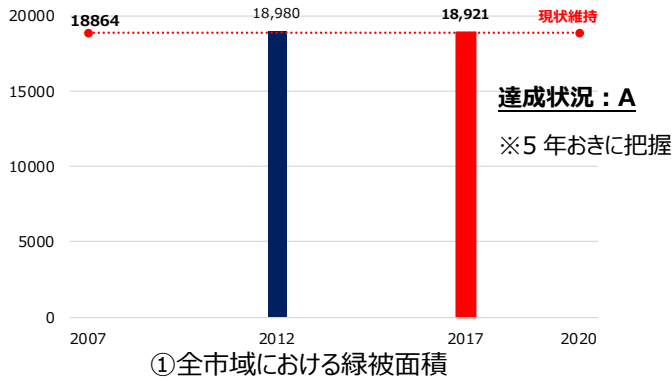


第2節 市民がふれあう自然共生のまちづくり

第1項 生き物や自然環境の保全・再生と自然のネットワークの形成

No	指標	現状値 (基準年度)	実績値 (把握年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	総合評価
①	全市域における緑被面積	18,864 ha (2007 年度)	18,921ha (2017 年度)	現状維持 (2020 年度※)	A (3)	★★ (2.3)
②	農地面積(農業振興地域の農用地区域内)	1,559ha (2014 年度)	1,553 ha (2020 年度)	現状維持 (2023 年度※)	B (2)	
③	森林面積	11,054ha (2010 年度)	11,730 ha (2020 年度)	現状維持 (2024 年度)	A (3)	
④	環境基準(博多湾)の達成率	COD 62.5% (2012 年度)	50% (2020 年度)	100% (2024 年度)	C (1)	
⑤	環境基準(河川水質)の達成率	BOD 100% (2012 年度)	100% (2020 年度)	100% (2024 年度)	A (3)	
⑥	カブトガニの卵塊・幼生数	卵塊：12 幼生：63 個体 (2012 年度)	卵塊：30 幼生：37 個体 (2020 年度)	現状維持 (2024 年度)	B (2)	

※基本計画の目標年度が2024(R6)年度であるため、本成果指標については、目標年度以降に指標項目及び目標値の再設定を検討する。



⑥カブトガニの卵塊・幼生数

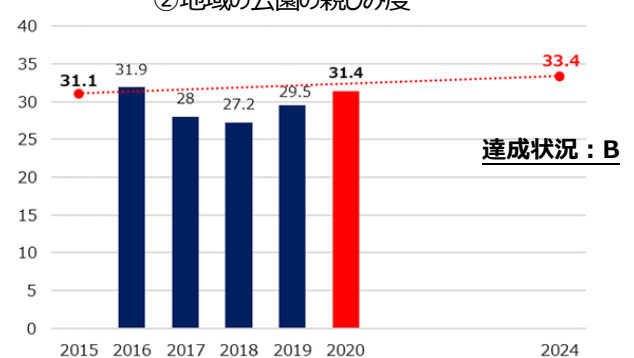
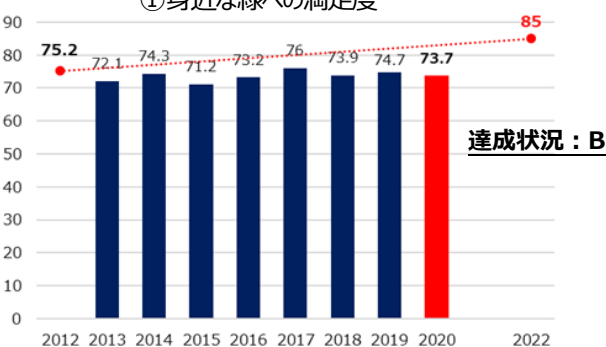
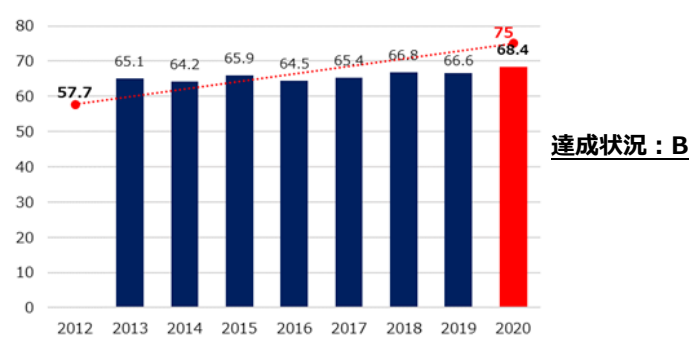
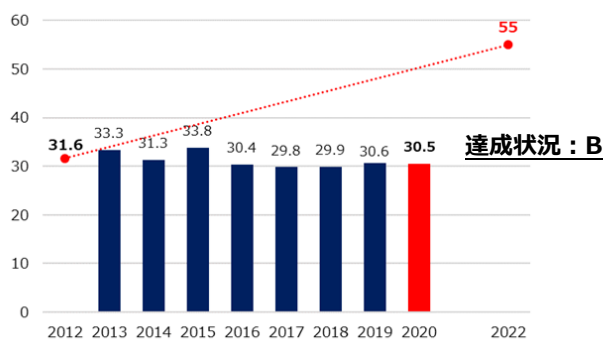
達成状況：B

※卵塊数・幼生数の達成状況から総合的に判断

第2項 自然からの恵みの持続的利用の促進

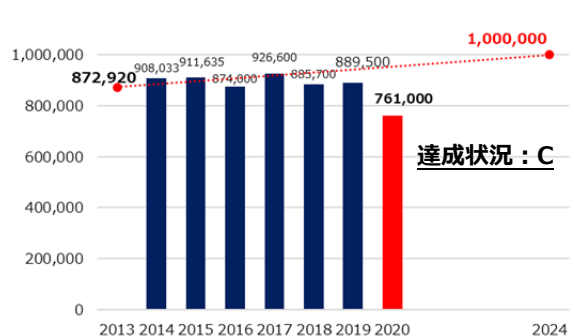
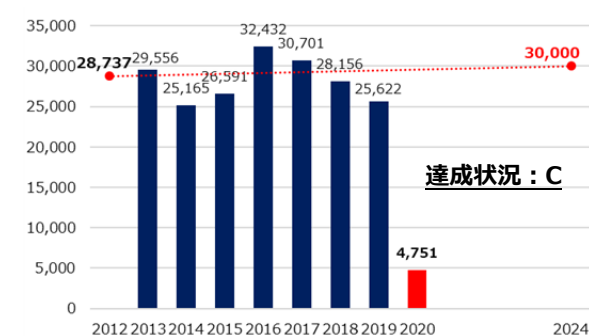
No	指標	現状値 (基準年度)	実績値 (把握年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	総合評価
①	身近な緑への満足度	31.6% (2012 年度)	30.5% (2020 年度)	55% (2022 年度※)	B (2)	★★ (1.6)
②	地域の公園の親しみ度	57.7% (2012 年度)	68.4% (2020 年度)	75% (2020 年度※)	B (2)	
③	福岡市の農林水産業を守り育てていくべきだと思う市民の割合	75.2% (2012 年度)	73.7% (2020 年度)	85% (2022 年度※)	B (2)	
④	学校給食への市内産農産物利用割合（野菜） ※小学校における主要 14 品目の重量ベース	31.1% (2012～2014 年度平均)	31.4% (2018～2020 年度平均)	33.4% (2021 年度※)	B (2)	
⑤	背振少年自然の家延利用者数	28,737 人 (2012 年度)	4,751 人 (2020 年度)	30,000 人 (2024 年度)	C (1)	
⑥	農林業ふれあい施設年間利用者数※油山市民の森/油山牧場/花畑園芸公園/市民リフレッシュ農園(今津・立花寺)	872,920 人/年 (2013 年度)	761,000 人/年 (2020 年度)	1,000,000 人/年 (2024 年度)	C (1)	
⑦	海づり公園利用者数	69,719 人/年 (2013 年度)	46,724 人/年 (2020 年度)	72,000 人/年 (2024 年度)	C (1)	
【特記事項】 新型コロナウイルス感染症の影響により、施設利用者数が減少した。						

※基本計画の目標年度が 2024(R6)年度であるため、本成果指標については、目標年度以降に指標項目及び目標値の再設定を検討する。



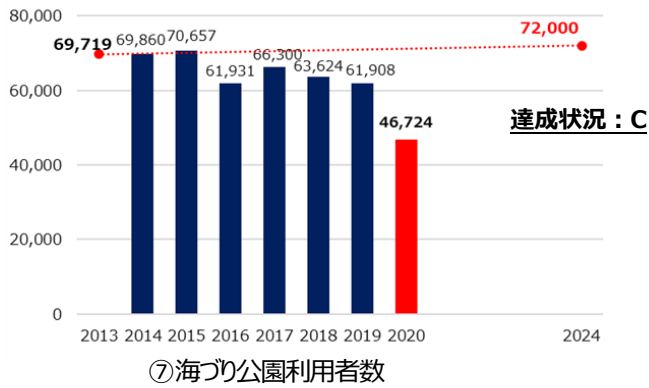
③福岡市の農林水産業を守り育てていくべきだと思う市民の割合

④学校給食への市内産農産物利用割合(野菜)



⑤背振少年自然の家延利用者数

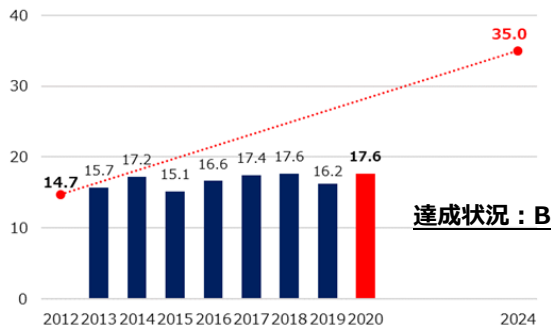
⑥農林業ふれあい施設



第3項 生物多様性の認識の社会への浸透

No	指標	現状値 (基準年度)	実績値 (把握年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	総合評価
①	生物多様性を理解し、その保全を意識して行動している市民の割合	14.7% (2012 年度)	17.6% (2020 年度)	35.0% (2024 年度)	B (2)	★★ (2)

【特記事項】 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、イベントや保全活動の実施回数は減少したが、オンラインを活用した方法を取り入れるなどの工夫を行った。

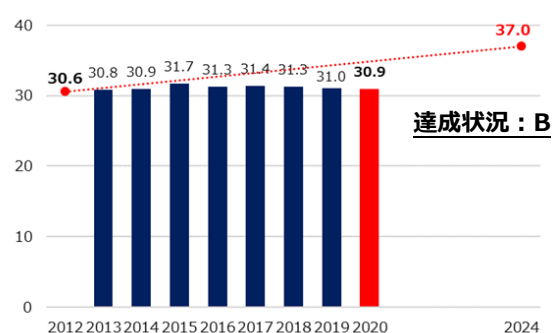
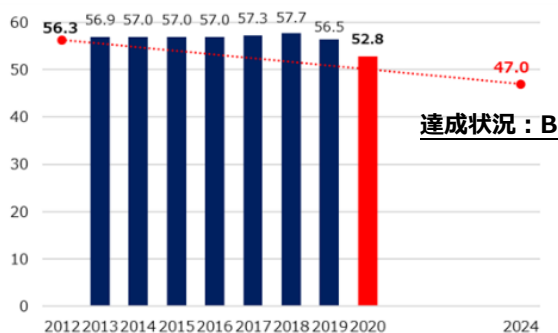


第3節 資源を活かす循環のまちづくり

第1項 廃棄物の発生抑制・再利用・再生利用の推進

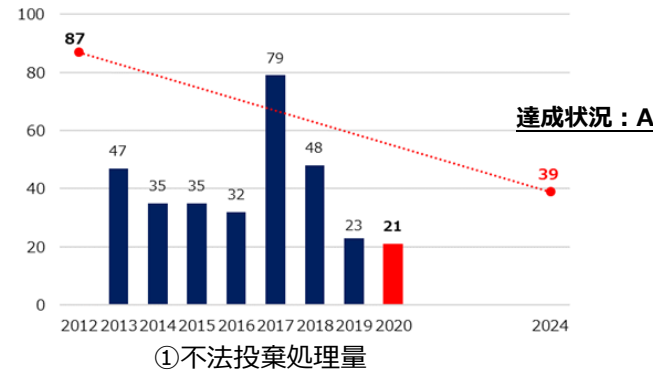
No	指標	現状値 (基準年度)	実績値 (把握年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	総合評価
①	ごみ処理量	56.3 万 t (2012 年度)	52.8 万 t (2020 年度)	47 万 t (2024 年度)	B (2)	★★ (2)
②	ごみのリサイクル率	30.6% (2012 年度)	30.9% (2020 年度)	37% (2024 年度)	B (2)	

【特記事項】 家庭ごみについては人口の増加に加え、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う外出自粛等により、ごみ処理量は前年度から約 1 万トン増加した。事業系ごみについては 2020 年 10 月から開始した古紙の分別区分追加の効果に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による営業自粛等により、ごみ処理量は約 4 万 7 千トン減少した。



第 2 項 廃棄物の適正処理の推進

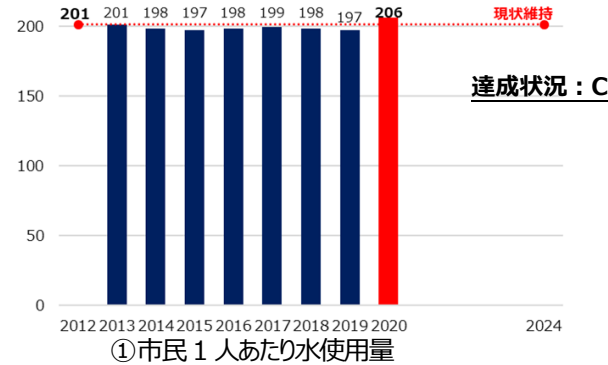
No	指標	現状値 (基準年度)	実績値 (把握年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	総合評価
①	不法投棄処理量	87 t (2012 年度)	21t (2020 年度)	39 t (2024 年度)	A (3)	★★★ (3)



第 3 項 水資源の有効利用

No	指標	現状値 (基準年度)	実績値 (把握年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	総合評価
①	市民 1 人あたり水使用量 (市民一人一日あたりの家事用水使用量)	201 リットル (2012 年度)	206 リットル (2020 年度)	現状維持 (2024 年度)	C (1)	★★ (特記事項)

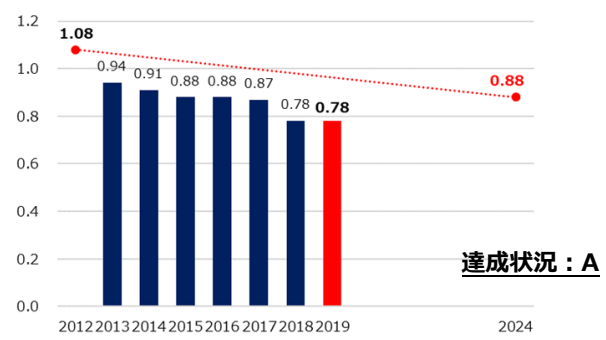
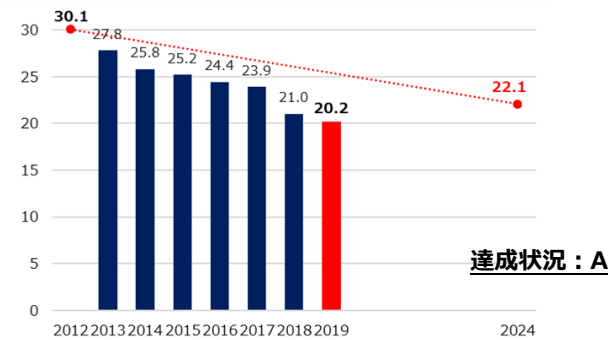
【特記事項】新型コロナウイルス感染症の影響に伴う外出自粛や生活様式の変化等により、市民一人一日あたりの家事用水使用量が増加した。



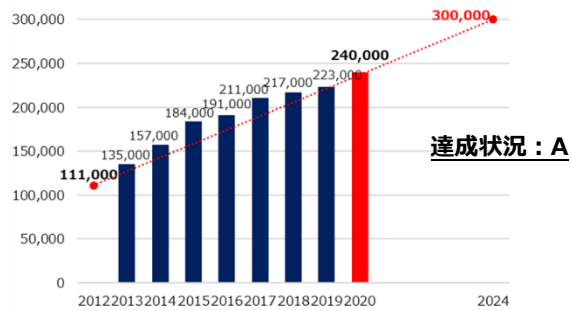
第 4 節 未来につなぐ低炭素のまちづくり

第 1 項 省エネルギーの促進

No	指標	現状値 (基準年度)	実績値 (把握年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	総合評価
①	家庭部門における 1 世帯あたりのエネルギー消費量	30.1 キロワット・時※ (2006～2010 年度平均)	20.2 キロワット・時 (2019 年度)	22.1 キロワット・時 (2024 年度)	A (3)	★★★ (3)
②	業務部門における延床面積 1 m ² あたりのエネルギー消費量	1.08 キロワット・時 (2006～2010 年度平均)	0.78 キロワット・時 (2019 年度)	0.88 キロワット・時 (2024 年度)	A (3)	



第2項 再生可能エネルギーやエネルギー・マネジメントシステムなどの導入・活用

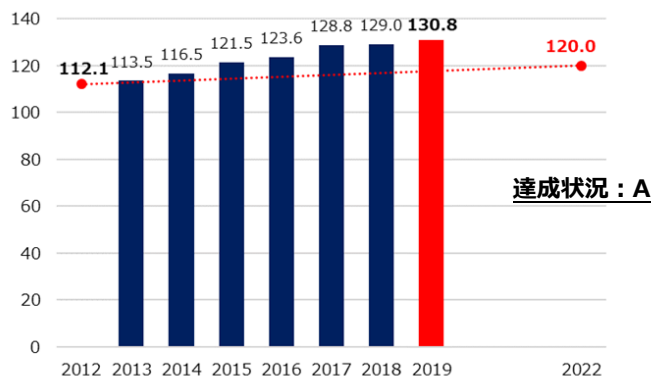


①再生可能エネルギーの設備導入量

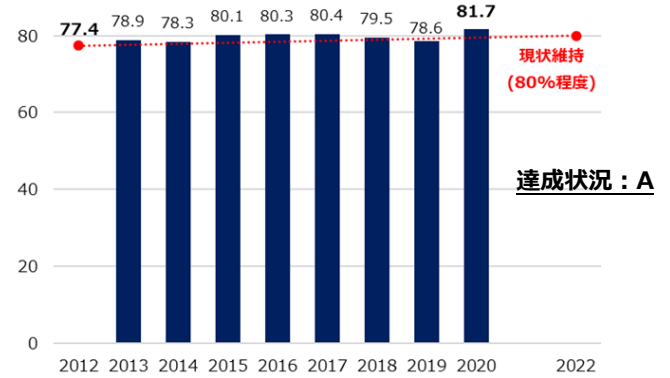
No	指標	現状値 (基準年度)	実績値 (把握年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	総合評価
①	再生可能エネルギーの設備導入量	11万1千kW (2012年度)	24万kW (2020年度)	30万kW (2024年度)	A (3)	★★★ (3)

第3項 低炭素型の都市構造及び交通体系の構築

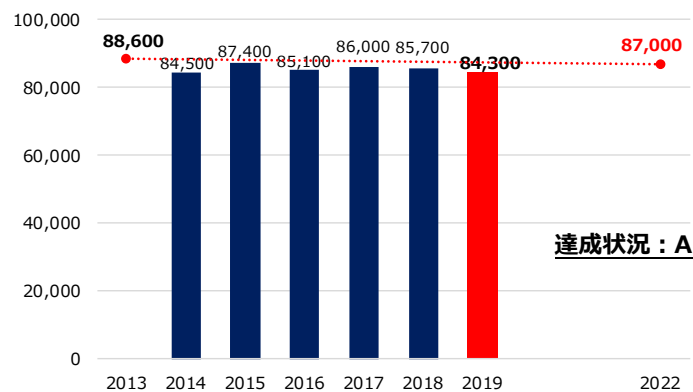
No	指標	現状値 (基準年度)	実績値 (把握年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	総合評価
①	1日あたりの鉄道・バス乗車人員	112万1千人 (2012年度)	130万8千人 (2019年度)	120万人 (2022年度※)	A (3)	★★★ (3)
②	公共交通の便利さへの評価	77.4% (2012年度)	81.7% (2020年度)	現状維持(80%程度を維持) (2022年度※)	A (3)	
③	都心部への自動車の流入台数	88,600台/12h (2013年度)	84,300台/12h (2019年度)	87,000台/12h (2022年度※)	A (3)	



①1日あたりの鉄道・バス乗車人員



②公共交通の便利さへの評価



③都心部への自動車の流入台数

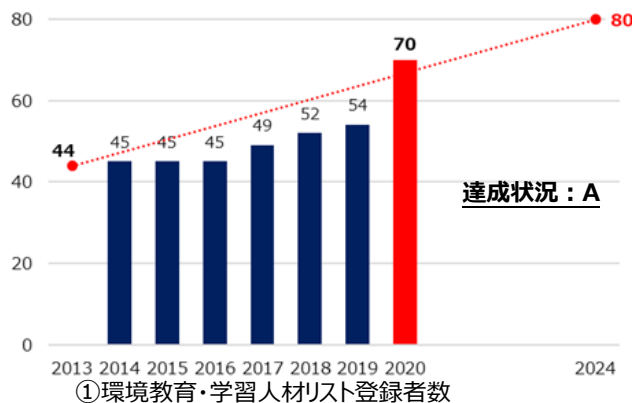
2 分野横断型施策

第1節 環境の保全・創造に向けた人づくり・地域づくり

第1項 環境行動を担う人材の育成

No	指標	現状値 (基準年度)	実績値 (把握年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	総合評価
①	環境教育・学習 人材リスト登録者数	44 人 (2013 年度)	70 人 (2020 年度)	80 人 (2024 年度)	A (3)	★★★ (3)

【特記事項】 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、出前講座の実施回数は減少したが、動画配信やオンライン講座を実施するなどの工夫を行った。



第3節 ふくおか から 九州・アジアへ

第2項 国際環境協力の推進

No	指標	現状値 (基準年度)	実績値 (把握年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	総合評価
①	視察・研修受入 人数	602 人 (2011 年度)	175 人 (2020 年度)	1,700 人 (2022 年度※)	C (1)	★★ (特記事項)

【特記事項】 2020 年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う渡航の制限等により、視察研修受入人数が大幅に減少した。

※本成果指標の目標値は環境分野だけでなく、下水道・水道対応分野を含めた市全体としての数値である。

※基本計画の目標年度が 2024(R6)年度であるため、本成果指標については、2022(R4)年度以降に指標項目及び目標値の再設定を検討する

